

令和2年度 第14回四国中央市協働推進会議 議事要旨 記録

日時

令和2年10月6日(火) 19:00~20:50

場所

四国中央市消防防災センター3階 大会議室

次第

1. 開会あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 第1期四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について
 - (2) 第2期四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (3) 公共施設の適正配置(公共建築物の「再編方針」)について
3. その他
4. 閉会あいさつ



会議記録

1. 開会あいさつ

宮崎委員長より開会のあいさつ

2. 協議事項

(事務局) ○第Ⅰ期四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績報告について説明。

合田委員 (No.33)ふるさと納税者数が、H30年、R1年と急激に伸びた要因はありますか？

(事務局) 平成30年に紙製品の返礼品を追加したことが大きな要因です。現在でも、寄付件数の約8割を紙製品が占めており、今後も紙製品の返礼品を多く追加していきたいと思います。
紙製品の中でもトイレtpペーパーは、新型コロナウイルス感染症の影響で市場に出回らなくなった時は、申込みが殺到しました。

村上委員 重点戦略Ⅰ、Ⅱの「地域づくり戦略」「地域発信戦略」については、KPIの結果が市民サービスに反映されたと思いますが、重点戦略Ⅲの「市役所づくり戦略」については、KPIの結果を踏まえて、行政サービスの質は向上したか数字以外で教えてください。

(事務局) 行政サービスの質の向上について、ICTを活用した市民サービス等が当市としては遅れていると思います。今後、高齢化社会が進んでいく中で、すべてICT化を進めれば住民サービスが向上される訳ではないので、どの分野で導入するか検討し、取り入れていくべきだと思っています。

村上委員 今後は、ICTに力を入れていくという考えでよろしいですか。

(事務局) 新たな技術ICTを活用するという国の方向性を第2次総合戦略に反映させていますので、進んでいくと思います。

- 吉岡委員 人口の目標値について、令和42年(2060)を目標値としているが、40年先の事で実感がわからない。もう少し短期で設定したほうがわかりやすいと思います。
- (事務局) 人口ビジョンにおける目標人口の設定年が先ではありますが、5年ごとの想定値を出しています。今年度の想定値が83,690人、令和7年度の想定値が80,239人です。
- 宮崎委員長 自治体も特殊出生率や人口統計の結果を鑑みて、約5年ごとの設定が良いものだと考えていると思います。また、町を好きになってもらい住民に定住してもらう街づくりが今後の課題だと思います。
- 内村委員 (No.14)移住相談会での年間相談件数の数値が、例年60・70件を維持されており、市内へのUIJターンの促進に繋がればいいと思いますが、(No.16)企業合同就職説明会参加企業数が、平成30年から大幅に減った理由を教えてください。
- (事務局) 平成29年度までは、企業合同就職説明会を年2回市単独で実施してきましたが、実績を振り返ってみると、学生の参加者数が年々減少していたので、平成30年度からは東予3市(新居浜・西条)の東予ものづくり三市連携推進協議会の産業部会で、就活地方祭(企業就職説明会)を年1回開催することになりました。会場の広さの都合上、各市25社と上限が決まっておりますので、平成30年から参加企業数が減少しました。
- 内村委員 説明会の数や参加企業数が減少したことで、市内就職者数の実績に影響はなかったのか、また、分析したのか教えてください。
- (事務局) 平成27年から参加企業にアンケートを実施しており、アンケートの結果では、約30名の内定者と、19名の就職が確認できています。学生の参加者数は毎年約60名で、5年間で約300名ですので、1割程度は内定に繋がっていると思います。
- 河端委員 (No.11)年間起業件数について、令和元年度に起業された人が最も多くなっていますが、この数字の算出方法を教えてください。
- (事務局) 商工会議所への聞き取りによる数字ですので、実際の起業件数はもっとあ

と思います。

佐藤委員 (No.8) 市内の就業率の算出方法を教えてほしい。

(事務局) 就業率は、15歳以上の人口に占める就業者数の割合です。

佐藤委員 魅力ある職場づくりの推進を考えているなら、別の数値を目標値にしたほうがいいと思う。市外での就職が若者の減少に繋がっていると思うが、就業率をKPIに設定しても人口減少対策には意味がないと思います。

(事務局) 1つのKPIの指標として考えていただけたらと思います。

また、都会に転出した若者が帰ってこない問題を解決するために、地方創生推進交付金を活用し、地域産業人材定着事業を実施しております。内容は、小中高生や愛媛産業大学イノベーションセンターの学生を対象に、市内企業工場見学等を行い、地元の地場産業を知ってもらい、地元就職したいと思えるきっかけになればと思っています。

(事務局) ○第2期四国中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明。

佐々木委員 (立花委員代理) コロナ禍で、市内の企業業績が厳しい状況で、来年度の税収が落ち込み財政面が厳しくなることが懸念されますが、来年度以降の事業や施策の財源についての考えを教えてください。

(事務局) 来年度、恐らく税収減になると思いますが、事業を精査し、財政調整基金等の取り崩しや、国の交付金を活用して、財源を確保したいと思います。

山地委員 第2期総合戦略で、医療や福祉分野について示していないが、敢えて示していないのですか？

(事務局) 第2期総合戦略では人口減少対策に的を絞って策定しているので、医療や福祉分野について詳しく触れていません。しかし、医療や福祉分野については第2次四国中央市総合計画や医療・福祉等に関する分野別計画を策定しています。

(事務局) ○公共施設の適正配置(公共建築物の「再編方針」)について説明。

- 宮崎委員長 協議事項(1)、(2)、(3)について事務局から説明がありましたが、質問はありませんか？
- 村上委員 現在協力隊として活動している方がイノシシ脂を活用した石鹼を製作し販売していると聞きましたが、そのことについて教えてください。
- (事務局) 現在、本市では1名が協力隊として活動しており、ミッションが新宮地域の有害鳥獣の駆除となっており、有害鳥獣の被害や対策を多くの方に知ってもらおうと、イノシシ脂を活用した石鹼の販売に至りました。政策推進課で販売しています。
- 出水委員 地域おこし協力隊の3年の任期満了後、市として支援していくのか教えてほしい。現在活動している協力隊に地元住民は残ってほしいと思っています。
- (事務局) 地域おこし協力隊の任期も残り半年になったので、本人の仕事等の希望を聞いて、支援していきたいと思います。
- 佐藤委員 コロナの影響で、都会で仕事をしたくない若者が増加しているため、地方が採用活動を積極的に行うために、市内企業を知ってもらおうと市内企業50社を紹介する情報誌を6000部作成しました。毎年発行しようと思っていますので、前向きな企業や市民の方へ宣伝して頂けたらと思います。
- 宮崎委員長 その他意見等ないようですので、オブザーバーの方から一言お願いします。
- 後藤
オブザーバー 少子高齢化が進み労働力人口が減少しているため、当所としては、労働力不足を改善するために、企業へ労働力条件の緩和等を促して高齢者や障害者や女性が働きやすい環境づくりに努めています。また、市内には素晴らしい企業が多くありますので、貢献していきたいと思っています。
- 井上
オブザーバー 当社で、移住促進ポータルサイト「四国まんなか生活」を運営しています。9月のアクセス数及びオペレーション等を分析したところ、40%がパソコンから60%がスマホからアクセスされていましたが、書道パフォーマンス甲子園をライブ配信した時は、85%がスマホから15%がパソコンからのアクセスでした。そのことから、四国まんなか生活の閲覧者は、大きい画面で見

たいシニア世代が多いのではないかと思います。アクセス数が多い地域は、大阪・横浜・名古屋の順番で、引退後の第二の人生を考えている都市圏の方が見ていると想像できます。これまで、四国まんなか生活では子育て世代向けの動画を配信してきましたが、9月の分析を見る限りではスローライフをイメージできるような動画を配信したほうがいいと思ったので、色々判断しながら実現に向けて取り組みたいと思います。

山口宏
オブザーバー

ふるさと納税に地場産業である紙製品を取り入れ、地域の強みを工夫して生かすことで倍の効果を得ることが出来たのだと思いますし、今後、国の交付金を活用した事業等で市政が飛躍していくのを楽しみにしています。また、第2期総合戦略はコロナが流行する前に策定しているので、コロナ禍を見据えた計画やニーズに合った KPI の内容を当会で協議しながら見直すべきだと感じました。弊社では中小企業支援金の融資を中心に行っていて、3~5 月に前年比の 1,000%を超える申請がありました。また、コロナ禍においてニーズに合った企業を発掘したいと思います。例えば、コロナの影響で結婚式を挙げられなかった人が多くいると思い、結婚式場と協力してフォトプランを作成したところ、300 人程のオファーがありました。今後も、中小企業や with コロナのニーズにあった企業等を支援していきたいと思っています。

渡邊義人
オブザーバー

地方銀行としては、地域の企業へ色んな支援をしたいと考えています、金融業務だけではなく、地域企業と人材のマッチングや、他業界と連携して企業が今後も発展できるような取り組みをしていきたいと思っています。

田中信治
オブザーバー

地方創生推進交付金を活用した地域産業人材定着事業について、全国的に見ても御市は紙産業の柱石だと思うので、このような活動をしていただき非常にありがたいです。当局でも来年度予算についてホームページで公表しておりますが、当局の支援制度の設備投資の減税等を活用している四国中央市の企業がありますので、今後も企業へサポートをしていきたいと思っています。

田場典恭
オブザーバー

四国中央市の情報発信について、(No.11)フェイスブックの年間アクセス件数が減少している理由を教えてください。また、他の SNS や LINE 等は活用していますか？

(事務局)

フェイスブックのアクセス件数減少について、発信数が少なくなったのが原

困だと思えます。アクセス数が多かった時は、ご当地ゆるキャラグランプリが開催されていて、当市のゆるキャラ「しこちゅ〜」についてフェイスブックを活用して情報発信しておりましたが、年々発信数が少なくなりアクセス数も減少したのだと思えます。本市は他の SNS や LINE は活用しておりませんが、今年度中に保健推進課で母子相談等 LINE を活用して実施する予定です。今後、他の SNS や LINE の導入について検討したいと思えます。

宮崎委員長 今年度は土居の芋炊きを開催しないと聞きましたが、今年度の里芋の収穫状況等、農業分野について合田委員に教えてください。

合田委員 コロナの影響で土居の芋炊きは開催できなかったのですが、地方発送として芋炊きセットをネットで販売しています。伊予美人（里芋）について、作付けは高齢化により年々減少していますが、栽培技術、基盤地、機械化により、収穫量を維持し今年度は出来が良く、ブランド化もできてきたので、日本で一番大きい「東一」に本格的に出荷しています。昨年度、東予管内で公益選果場を設立し、東予地区の生産者と協力して生産拡大し、全国規模のブランドにしていく取り組みを行っています。また、有害鳥獣の農作物の被害が拡大しており、農家の意欲が衰退しないために、市・農協・生産者一体となり対策していく必要があると思えます。

森川副委員長 コロナの影響で消毒液やペーパータオル等の消費が増え、業績が伸びた企業もありますが、飲食業やイベント関係の業種は大きく影響を受けています。また、当社では人口減少による労働力の確保が課題であり、外国人技能実習制度を活用していますが、紙産業が実習制度で指定されておらず直接的には働けない状況になっておりますので、実習制度に紙産業を職種追加するよう国に働き掛けています。移民の政策は難しい問題があると思えますが、日本全体で移民の受入を積極的に行い、労働力を確保しなければ産業は衰退していくと思えます。

宮崎委員長 また、何かご意見等ございましたら事務局までお知らせいただけたらと思えます。最後に、森川副委員長より閉会の挨拶をお願いします。

森川副委員長 事務局の説明を聞いて思ったのは、目標は長期で設定して計画は短期で積み重ねていく必要があると思えました。第2期総合戦略に SDGs の観点の導入について書かれていますが、国・県が地方自治体に SDGs に関する政策の策定を呼び掛けていますが、四国中央市では進んでいないと思う

ので、そういった新しい取り組みを今後導入して行ってほしいと思います。
本日はありがとうございました。